

CONTENTS

キューケンホフ公園2013 まもなくシーズンイン！ 今年のテーマ国は「イギリス」
 チューリップの切り花栽培、花芽つき球根、お花屋さん・・・オランダの2月を取材
 「リリーエンジェル」イベントに登場！全国各地で活躍中です！
 花芽つき球根デモンストレーション バレンタインを前に 東京・世田谷、大田両市場で
 「ダッチリリーデー2013」今年もオランダで開催 5月21日から24日まで
 オランダに春の訪れを告げる「ナショナル・チューリップ・デー2013」極寒の中で開催
 チューリップもスケートと一緒に TULPEN OP DE SCHAATS
 あの日からもうすぐ2年 復興の地 陸前高田の「希望の庭」は第2章へ
 「チューリップセレクト 2014」オランダでパンフレット用の写真撮影をおこないました

キューケンホフ公園2013 まもなくシーズンイン！ 今年のテーマ国は「イギリス」



今年も、キューケンホフ公園のシーズンが近づいてきました。2013年の開園日は3月21日（木）。この日から5月20日（月）までの毎日（午前8時～午後7時半）となっています。今年のテーマ国は、ガーデン文化の国イギリスです。キャッチフレーズは「United Kingdom Land of Great Gardens」。テーマに合わ

せてイギリス庭園の展示が開かれます。イギリス庭園のすばらしさを知るのと同時にイギリスやオランダのプロの庭師からアドバイスをすることもできるそうです。また、ビッグ・ベンやタワーブリッジの「花のモザイク」も楽しみの一つ。写真などでご覧になったことがあると思います。「花のモザイク」は22mx13mの長方形で、6万本の球根花が植えつけてある生きた芸術品です。

キューケンホフはオランダの春を代表する球根植物のテーマパークのような庭園です。名前の由来はもともとの所有者であった貴族のキッチンガーデン（ハーブや野菜などを育てる庭園）です。かつての領地の一部である32ヘクタールの広大な敷地に、チューリップ、ラッパ水仙、ヒヤシンスなど700万株以上の春の球根花が色とりどりに咲き乱れます。歴史を感じさせる大木や大小の池をめぐる散策を思い描くだけで気持ちがわくわくしてきます。さまざまなインスピレーションガーデンを見ていくと、ご自分の庭で活かせるアイデアもたくさん見つかるはずですよ。

屋外の花の植栽のほかに園内にあるパビリオンでの花のショーも必見。過去64年間の間に、5千万人以上の人々が世界中からキューケンホフ公園を訪れました。この春、オランダに出かけてぜひ、ご自分の目でごらんください！



動画によるご案内 <http://www.youtube.com/watch?v=XqVKPO83638>

今年のパレード（「コルソ」）の予定は、4月20日土曜日。イベントはその前から始まっています。

<http://www.keukenhof.nl/jp/25/flower-parade.html>

<http://bloemencorso-bollenstreek.nl/en/>

各球根花のショーのスケジュール <http://www.keukenhof.nl/jp/22/aaaaaaa.html>

チューリップの切り花栽培、花芽つき球根、お花屋さん・・・オランダの2月を取材

アイバルブ・ジャパンでは、チーム全員で2月初旬の約1週間、バレンタインデーを目前に控えたオランダで調査・取材を行いました。調査の目的はオランダでの「花芽付き球根」の生産から流通、販売の実態を調査すること、「女性」が活躍するお花屋さんの取材と撮影。そのほかにも、球根花の生産や市場の様子も取材してきました。

2月に出かけたのは、ちょうど花芽つき球根のシーズンであること、そしてお花屋さんが「バレンタイン」にどんなふうに取り組んでいるのかを知るためです。今年は日本同様オランダも寒い冬を迎えているそうですが、取材期間中はおだやかなお天気に恵まれて撮影も順調にできました。空気は冷たくても、曇り空が晴れてくると本当に気持ちがいいですね。

行くたびに思うことは、やっぱり、「花があることが当たり前」の暮らし。花や緑が自然にとけ込んでいることですね。お花屋さんやガーデンセンターでもお客さまが次々に訪れて思い思いにお花を買っていかれます。お店の人との会話でも自然と笑顔になって。お花屋さんでは、セルフで飲めるコーヒーマシンを用意していたり、小さな子ども連れのお客さまのために子どもが遊べるスペースやおもちゃが用意されていたり。ガーデンセンターでは、カフェスペースが充実していておいしいスイーツをゆっくりと楽しむ夫婦や家族連れの姿がとてすてきでした。屋外で過ごすためのさまざまな「アウトテリア雑貨」や道具も。

欧州は景気が悪いなどと言われていますがオランダの人口は増え続けていて、車を走らせると新しく建てられた住宅があちこちに見つけることができます。あの窓のひとつひとつの向こうに人々の希望あふれる新しい暮らしがあって、そこにはま新しいインテリアや花瓶、そして花が飾られているのだらうなと思いました。ヨーロッパが経済的にひとつになっては10年以上が過ぎ花の流通量も拡大しました。まさにボーダーレスの時代。特にロシアや東ヨーロッパの需要は大きく、輸出は順調のようです。花が欲しいというところがある。それを作って送り出す。オランダは大きなエンジンになっています。生産、流通、花束加工、デザイン、包装資材や器、プロモーション・・・そのどれもが拡大のために歩調を合わせてダイナミックに変化していました。

生産者は世界のどこに花を持って行っても買やすい価格で提供できるようにコストを削減し、求められる量を提供できるよう大規模栽培に取り組んでいます。最新技術による植物工場に取り組んでいるところも見えました。機械化、自動化も進んでいます。流通はより遠くへより早く届けるために革新を続けていました。IT化によっていわゆる「在宅ゼリ(遠隔地からのゼリ参加)」に対応するために、送り状にはさまざまな記号が記されて現物がそこになくとも評価がしやすくなっています。輸出業者は入荷した花をその先のバイヤーや小売店にデジタル画像とともにデータを送り取引を迅速化しています。

育種力もやっぱり底力がある。今回も見ただけの新しい品種を見ることができました。鉢物については以前からプラグ苗(セル苗生産)のシステムで鉢の小型化は進んでいましたが、さらに小さくなって、寄せ植えに使ったり花器やバスケットと合わせたりして商品化が進んでいました。お目当ての「花芽付き球根」はもうびっくりするくらい大量につくられていてさまざまな器や寄せ植えになっていました。いろいろな品目の優秀な生産者が集まってオリジナルブランドをつくり自分たちで営業を行うグループもよい成績を上げているということでした。ドライセール用の球根のパッケージデザインもよく考え



られたアイデアで、「これが球根?!」と驚くようなすてきなものがたくさんありました。花がない時期なので、パッケージに開花した状態の写真があるとほんとうに分かりやすいし、イメージアップするためには欠かせないものだと感じました。また、鉢物でも切り花でも開花した写真がタグやスリーブに多用されています。

花芽付き球根は、外がまだ凍りつくような景色の中で、わくわくするような春への期待をふくらませてくれます。どこのお花屋さん、ガーデンセンター、スーパーマーケット、ガソリンスタンドの売店でも売っています。クリスマスが終わって新年を迎えた後、イースターまでが花芽付き球根の季節。日本では残念ながら年が明けると「春」。オランダの花芽付き球根のポジションは日本ではパンジー・ビオラの苗になっている。四季の移り変わりを敏感に味わってきた日本ですから、初春のわくわくを楽しめる花芽付き球根がもっと提案できるように思いました。

「リリーエンジェル」イベントに登場！全国各地で活躍中！



いよいよ、リリーエンジェルのプロモーション活動が本格的にスタート。全国各地で行われるお花のイベントに登場し、ユリの魅力をアピールしています。ぜひ、応援をお願いします！

2月22日には大阪でなにわ花いちば主催の「なにわ花まつり」に参加。イベント初登場の島田歩美さんと森本恵美さん二人のリリーエンジェル。お二人のお父様、もりもと農園 森本仁志様、フカヤスリーエフクラブ 島田誠様からお贈りいただくユリもブースを飾りました。リリープロモーション・ジャパンプースでは、デザイナーチームのかねとういさおとレン・オークメイトが出展産地さんのユリを使ったデモンストレーションを行いました。

このイベントに参加したユリ産地は、土佐市農協高石支所、土佐市農協戸波支所、土佐市農協新居支所土佐市農協波介支所、土佐市花卉農協、高知春野農協、高知市長浜支所（以上高知県）そして埼玉JAふかや です。

詳しくは <http://www.naniwa-hana.co.jp/>

リリーエンジェルの永友理沙さんは、2月9日、10日に宮崎で行われた「花の祭典 2013 Miyazaki Flower festival」に参加しました。イベントスペースでは、席数50席程度が埋まり、立ち見の方も多くみられる賑わい、リリーエンジェルも大人気でした。永友理沙さんも2回目のイベントとなる今回は、客席を回ってお客さまにユリに触れていただき、トークショーでも落ち着いてお話できていました。



今後の予定は、

2月25日 フカヤリーストクラブのリリーエンジェル 島田歩美さん。大田市場で小島深谷市長、根岸JAふかや代表理事組合長とセリ前挨拶、深谷のユリをPRします。

3月1日 高知県土佐市 森本恵美さん 高知県JA春野のPRに参加。

午前 大田市場 午後 オランダ屋新宿ペペ店で春野のユリPR。

3月6日(水)・7日(木) 高知県高知市 森田那月さん 高知市花卉園芸農業協同組合(まるこ)と春彩祭でユリプロモーション。

詳しくはこちらをごらんください。 <http://www.lily-promotion.jp/program/>

リリーエンジェル2013とユリのPRを希望される皆様は、お問い合わせください！

リリーエンジェル」のFacebookページ <https://www.facebook.com/lily.angel.jp>



花芽付き球根デモンストレーション バレンタインを前に 東京・世田谷、大田両市場で

オランダでの花芽付き球根生産会社の視察と、バレンタインを控えたフラワーショップの取材を終えて帰国したレン・オークメイト、金藤公夫両名が、2月11日(月)(株)フローレ21世田谷店(世田谷市場仲卸)、(株)大森花卉(大田市場仲卸)の店頭で、バレンタインに向けた花芽付き球根を使ったデモンストレーションを行ないました。

当日は、ヨーロッパのバレンタイン事情や花芽付き球根の活用法などの説明に、集まったフローリストが熱心に耳を傾けていました。



協賛：皿井植物園 HANAMICHI 四柳養樹園 リード商事 協力：アイバルブ

「ダッチリリーデー2013」今年もオランダで開催 5月21日から24日まで

今年で3年目となる「ダッチ・リリー・デー2013」が5月21日(火)から24日(金)までの4日間、ユリの関連16社によって開催されます。期間中16社はハウスを一齐に公開し取り扱い品種を展示。過去の2回はオランダ・ユリ産業の「ショーウィンドウ」として、とてもよい成果を上げており、昨年は前年の2割増しの来場者がありました。世界中からバイヤーが来場したほか、オランダ国内からも多くの人が集まり、メディアでも大きく取り上げられています。3年目となる今年も、期待をさらにふくらませ8月から計画を立て取り組みを強めています。

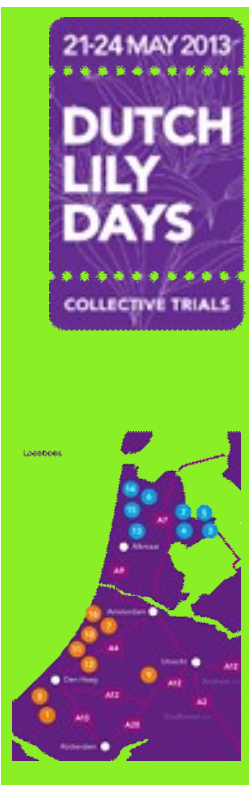
このイベントに参加する16社は、過去40年にわたって世界のユリの源泉であり、マーケットリーダーであり続けているという自負があります。開催日程は、ユリの開花には少し早い時期なのですが、今シーズンのキューケンホフの最終開園日(5月20日)に合わせて設定しました。日本からもぜひ多くのかたが来場されますよう期待しています。

ダッチリリーデー オフィシャル HP:

<http://www.dutchlilydays.nl/UK/index.html>

このデジタルカタログはよくできています!

<http://www.dutchlilydays.nl/UK/brochure.html>



20万本のチューリップ「ナショナル・チューリップ・デー2013」極寒の中で開催



オランダでは、新年が明けた1月の第3土曜日を「チューリップの日 (National Tulip Day)」と定め、昨年からは大きなイベントを行なっています。いわばチューリップの「解禁日」。ひと足早い春の到来を高らかに祝うオランダらしい楽しいイベントです。昨年はチューリップ20万本をアムステルダムのだム広場に集め、来場者に無料で花摘みしてもらいました。チューリップのお花畑を再現する圧倒的な光景とともに、音楽隊も出るなどお祭り気分の楽しさです。 <http://www.holland.com/jp/tourism/article/National-Tulip-Day-jp.htm>

この動画、マイナス4℃！ほんとうに寒そう。

http://www.youtube.com/watch?v=utDKYHD_Vlo

お天気が悪そうですが、今年もすごい人出です。

<http://www.youtube.com/embed/U7NgSgTPYPw>

<http://www.youtube.com/watch?v=8iWMINgXqak>

<http://www.youtube.com/watch?v=NUYKEcnD80E>

<http://www.youtube.com/watch?v=UCLq17z-GQM>

<http://www.youtube.com/watch?v=HePxcOeUDbA>

オランダ花卉協会の案内ページ

<http://www.mooiwatbloemendoen.nl/alles-over-bloemen/tulpendag-2013>



参加された日本の方の貴重なお話。寒かったそうです。マイナス4℃ 体感温度はマイナス10℃

<http://ameblo.jp/hallo-holland2011/entry-11453462559.html>

チューリップもスケートと一緒に TULPEN OP DE SCHAATS

チューリップ・プロモーション・ネーデルランド (TPN) は、スケートチームのひとつ「プロジェクト2018 (参加選手6名)」の公式スポンサーになりました。600社のチューリップの生産者の中から150社がTPNに参加しており、ナショナル・チューリップ・デー (1月第3土曜日) と「プロジェクト2018」には年間予算の中からファンドが拠出されています。

アイススケート、木靴、チューリップはオランダの伝統的なイメージであること、またオランダだけではなく世界中で試合が行われるので、チューリップのよいPRになるということがスポンサーになった主な理由です。「プロジェクト2018」の目標は2018年、韓国 平昌 (ピョンチャン) で開かれるオリンピックに参加し金メダルを取ること。選手のユニフォームにはロゴとキャッチ



フレーズ（春をあなたの家に呼んでください）がつけられています。もうひとつ！オランダではさまざまなメディアで映像や画像として取り上げられる大会のメダル授与式でチューリップの大きな花束をプレゼントしています！

あの日からもうすぐ2年 復興の地 陸前高田の「希望の庭」は第2章へ

多くの陸前高田市民や全国のボランティアに愛された「希望の庭」は民宿建設のため、2012年9月に引っ越しをする事になりました。2011年6月ひまわりのタネを蒔くことから始まった、円形ガーデンは、オランダのガーデンデザイナー、ジャクリーン・ファン・デル・クルートさんの「希望の庭」へと繋がり、樹木、かん木、宿根草、更には球根類を活かせる庭、人々が集える庭、地元の方々が管理しやすい庭を目指してリメイクされることになりました。「希望の庭」のリメイクには「花の力 プロジェクト」<http://hananochikara.org/> が協力します。



「チューリップセレクト 2014」 オランダでパンフレット用の写真撮影をおこないました

「チューリップセレクト」は、もう2014年に向けて動き出しています。オランダで、PRやパンフレット等に使う写真撮影を行いました。撮影したのは、昨年もお協力いただいた、アストリッド ファン デン ベルグ Astrid van den Berg さんのお店「greenhouse」。かつて花を栽培していた大きなガラス温室をそのまま利用したショップとワークショップ・ルーム、世界中の展示会の準備をする工房を持つとても魅力的な場所です。花と緑にあふれ、光がいっぱいのすてきな空間での撮影でした。



オランダ北部かつての内湾に突き出たエンクハイゼンという球根の大産地で、創業90年を越えた球根会社ヤン・デ・ウィット社長にこんな話を教えて頂きました。日本に最初にやってきたオランダ人（ホーランド人）は、誰だか知っていますか？八重洲という地名の元になったヤン・ヨーステンさん？いいえ。答えは、1585年ディルク・ヘリッツゾーン・ポンプ（ディルク・シーナ）という人。オランダ独立戦争の際、対スペイン戦で重要な場所となった要塞都市があった街エンクハイゼンで1544年に生まれポルトガルに航海術を学んだ海の男だそうです。郷土の偉人！当時は帆船。先人たちの勇気と努力に今、何かを学びたい！

アイバルブ・ジャパン・ニュースレター2013年2月号（第005号） 発行：アイバルブ・ジャパン

HP：<http://www.ibulb.org/>， <http://www.kyukon.info> メールアドレス：ibulb@aurorajp.com